

生活科学習指導案

2年

I 単元 みんなであそぼうーぼくも わたしも あそび名人ー

II 考察

1 教材観

(1) 育成を目指す資質・能力の三つの柱

③学びに向かう力・人間性等

みんなと楽しく遊びたいという思いや願いの実現に向けて、自分も1年生も楽しめる遊び方を考えて、みんなと楽しく遊ぼうとする態度

①知識・技能

ペットボトルキャップ遊びの遊び方とみんなと楽しく遊ぶことができた自分自身への気づき

②思考力・判断力・表現力等

ペットボトルキャップ遊びの遊び方や友達との関わりのよさを捉える力
相手意識をもって遊び方を見出す力

(2) 学習内容：学習指導要領上の位置付け

内容（6）「自然や物を使った遊び」

(3) 本単元の学習とその価値

大単元「みんなであそぼう」は、身近な自然や物を利用した遊び方を工夫をして、みんなと楽しく遊ぶ学習である。本小単元「ぼくも わたしも あそび名人」は、自分も1年生も楽しめるペットボトルキャップ遊びの遊び方（以下：遊び方）を友達と工夫をして、1年生と遊ぶ学習である。

本単元では、学習対象として「ペットボトルキャップ」を取り上げた。その価値は以下のとおりである。

子どもたちは遊びを通して、友達の役に立ったり、自分を認められる喜びを感じたりして自己有用感を高めていく。これまでのおもちゃを用いた遊びの学習では、自分のおもちゃをよりよくするために友達と関わってきた。そして、2年生となり、入学したばかりの1年生にも優しくしたいという意識が芽生え始めてきている。このような子どもたちにとって、自分も1年生も楽しめる遊び方について試行錯誤をしながら友達と関わる経験は、相手意識をもって遊び方を見出す力を高めることにつながる。さらに、友達と遊び方の工夫をする楽しさや、自分の遊び方のよさを友達や1年生から認められるという自己有用感を高めることができる。

ペットボトルキャップは、子どもたちが、これまでの生活経験や図工の学習の中で、他の身近な物と組み合わせ、生き物や乗り物等に見立てて遊んだり、転がしてみたりと、触れる機会が多い物である。そのため、子どもたちは、ペットボトルキャップ遊びに興味をもちやすく、みんなと楽しく遊びたいという思いや願いをもつのに適している。

ペットボトルキャップ遊びは、ゴムや風等を利用した遊びとは異なり、並べたり、積み上げた

り、転がしたり、弾いてぶつかけたりと、おもちゃを作ることのおもしろさよりも、遊び方の工夫をすることのおもしろさに目が向きやすい。そのため、遊び方の工夫をすると楽しめることや、みんなと楽しく遊ぶことのできた喜びを感じることができる。この試行錯誤の経験を通して、子どもたちは友達と遊び方の工夫をするおもしろさ、遊び方の工夫をするとみんなと遊びをより楽しめること、そして、相手意識をもって楽しく遊ぶことができた自分自身に気付くこととなる。

このような気付きの質の高まりは、自分の努力や友達との協力によって遊び方の工夫をし、より楽しく遊ぶことができたという自信となる。そして、今後の生活において、身近にある物を利用したり、遊び方の工夫を考えたりして、みんなと楽しく遊ぼうとする態度を養うことができる。

(4) 今後の学習

ここでの学習は、2年「手作りおもちゃであそぼう」で、輪ゴムで動くおもちゃを作ったり、そのおもちゃを使った遊び方を友達と一緒に考えたりし、楽しく遊ぶ学習へと発展していく。

2 児童の実態及び指導方針

子どもたちは、1年「かぜとあそぼう」において、風で動くおもちゃを作り、楽しく遊ぶ学習に取り組んできた。この学習やこれまでの生活経験の中で明らかになった子どもたちの実態及び本単元を進めるにあたっての指導方針は、次のとおりである。

- ① 風で動くおもちゃを作って遊ぶ楽しさ、楽しく遊ぶことができた自分自身へと気付きの質を高めてきている。このような子どもたちが、友達と遊び方の工夫をするおもしろさ、遊び方の工夫をするとみんなと遊びをより楽しめること、自分も1年生も楽しめる遊び方を考えてみんなと楽しく遊ぶことができた自分自身へと気付きの質を高めていけるように、友達と相談しながら遊び方の工夫をし、試し、1年生と遊ぶといった段階的な体験活動と、ペットボトルキャップ遊びと自分自身との関わりを振り返る活動を繰り返し設定する。
- ② 自分と友達の風で動くおもちゃの作り方を比べながら、風を受けるように工夫をすることができるようになってきている。このような子どもたちが、自分と友達の遊び方を比べながら、自分や友達の遊び方のよさを基に、自分も1年生も楽しめる遊び方の工夫を見出すことができるように、「1年生も楽しめる」という視点を基に、遊び方を友達と伝え合う活動と遊び方を友達と試す活動を設定する。
- ③ 身近なビニール袋や紙コップ等を利用して風で動くおもちゃを作ったり、それを用いて遊んだりしたいという思いや願いの実現に向けて、楽しく遊べるようになってきている。このような子どもたちが、みんなと楽しく遊びたいという思いや願いの実現に向けて、自分も1年生も楽しめる遊び方を考えて、みんなと楽しく遊ぶことができるように、自分たちの遊び方で1年生と一緒に遊ぶ活動を単元の中に位置付ける。

Ⅲ 目標及び評価規準

Ⅳ 指導計画 ※Ⅲ・Ⅳについては、指導と評価の計画参照

Ⅴ 本時の学習

- 1 ねらい 他のグループの友達と遊び方を伝え合い、新たな遊び方を自分のグループの友達と試すことを通して、みんなと楽しめるペットボトルキャップの配置の仕方や、ルールを見出す

ことができる。

2 準備 新たな遊び方の工夫を記述する箇所を設けた学習プリント

3 展開

学習活動と子どもの意識	指導上の留意点
<p>1 本時のめあてをつかむ。</p> <ul style="list-style-type: none">・ぼくたちは、ボーリングの赤いピンの点数を高くしたら1年生と楽しく遊べたな。次は、もっと楽しめるようにしたいな。・他のグループの友達のよいところが見付かるかもしれないな。それを入れて、ぼくたちも1年生も楽しめる遊び方にしたいな。 <p>2 他のグループの友達と遊び方を伝え合い、試す。</p> <ul style="list-style-type: none">・ぼくたちの遊び方を、投げるのが苦手な1年生でも高得点が取れて楽しそうと言ってくれて嬉しいな。1回じゃなくて投げる回数を増やす友達の遊び方もよさそうだな。・ぼくも、もっとよいところを見付けて、真似しながら、よい遊び方にしていきたいな。 <p>3 新たな遊び方を自分のグループの友達と試す。</p> <ul style="list-style-type: none">・投げる回数を5回に増やして試してみたら、たくさんピンが倒せたな。・ぼくたちは、投げる回数を変えたよ。1年生でも高得点が取れて楽しめると思うな。 <p>4 本時のまとめをする。</p> <ul style="list-style-type: none">・奥の赤いピンがもっと倒れるように、投げる回数だけじゃなくて、一度に投げるペットボトルキャップの数を増やしてみたいな。そうすれば、1年生でも赤いピンを倒しやすくなって、楽しめそうだな。投げる回数と一度に投げる数を変えて、みんなで試しに遊んでみたいな。	<p>○もっとみんなと楽しめる遊び方にしたいという思いや願いをもてるように、自分たちの遊び方のよさと1年生と遊んだ感想を問いかける。</p> <p>○遊び方を友達と伝え合い、自分も1年生もより楽しめる遊び方にするという本時の見通しをもてるように、友達と遊び方を伝え合うよさや本時に取り組みたいことを問いかける。</p> <p>○自分や友達の遊び方のよさに気付けるように、「1年生も楽しめる」という視点を提示し、遊びが似ている他のグループの友達と遊び方を伝え合い、試すよう促す。</p> <p>○他のグループの友達の遊び方のよさを取り入れながら、遊び方の工夫を考える意欲がもてるように、真似してみたい友達の遊び方のよさが見付けられた子どもを賞賛する。</p> <p>○新たな遊び方を見出すことができるように、遊び方を試す場と材料コーナーを設定し、自分のグループの友達と相談しながらペットボトルキャップを用いて試すよう促す。</p> <p>○新たな遊び方とそのよさを自覚できるように、遊び方の変更点とその理由を問いかける。</p> <p>○新たな遊び方の工夫を明確にもてるように、新たな遊び方の工夫を記述する箇所を設けた学習プリントに記述するよう促す。</p> <div data-bbox="794 1758 1401 1973" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"><p style="text-align: center;">— 評価項目 —</p><p style="text-align: center;">みんなと楽しめるペットボトルキャップの配置の仕方やルールについて、記述している。</p><p style="text-align: right;"><学習プリント②></p></div>

指導と評価の計画（全6時間）

目標	ペットボトルキャップ遊びの遊び方（以下：遊び方）を友達と試しながら工夫をすることを通して、友達と遊び方の工夫をするおもしろさ、遊び方の工夫をするとみんなと遊びをより楽しめることに気付き、みんなと楽しく遊ぶことができる。			
評価 規準	① 知識・技能)友達と遊び方の工夫をするおもしろさ、遊び方の工夫をするとみんなと遊びをより楽しめること、相手意識をもって楽しく遊ぶことができた自分自身に気付いている。 ②思考力・判断力・表現力等)自分と友達の遊び方を比べ、相手意識をもって遊び方を試しながら工夫をしたり、遊んだりしている。 ③学びに向かう力・人間性等)みんなと楽しく遊ぶことを目指して、自分も1年生も楽しめる遊び方を考えて、みんなと楽しく遊ぼうとしている。			
過程	時間	学習活動	指導上の留意点	評価項目<評価方法(観点)>
であ う	1	○ペットボトルキャップを利用してできそうな遊びを話し合っ て試し、学習のめあてをつかむ。 学習のめあて _____ 自分も1年生も楽しめるペットボトルキャップを使った遊び方を考えて、みんなと楽しく遊ぼう	○自分も1年生も楽しめる遊び方を考えて、みんなと楽しく遊びたいという思いや願いがもてるように、ペットボトルキャップ遊びを試し、みんなと一緒に遊ぶことのよさについて話し合う活動を設定する。	◇自分も1年生も楽しめる遊び方を考えて、みんなと楽しく遊びたいという思いや願いを伝えたり、記述したりしている。 <発言・学習プリント③>
	1 常時	○友達と遊び方を相談しながら、遊び方を試す。 ○自分たちの遊び方で1年生と一緒に遊ぶ。	○友達と遊び方の工夫をするおもしろさに気付けるように、選んだ遊びが似ている子ども同士のグループを編成し、遊び方を試す場を設定する。	◇友達と遊び方の工夫をするおもしろさについて、発言したり、友達と工夫をした遊び方で友達と笑顔で試したりしている。 <発言・行動①>
	1	○自分たちの遊び方で遊んだことについて振り返る。(本時)	○新たな遊び方を見出すことができるように、自分が見付けた遊び方を友達と伝え合う活動を設定する。	◇みんなと楽しめるペットボトルキャップの配置の仕方やルールについて、記述している。 <学習プリント②>
まと める ・ い か す	1 + 常時	○自分たちの新たな遊び方で1年生と一緒に遊ぶ。	○遊び方の工夫をするとみんなと遊びをより楽しめることに気付けるように、1年生と遊んだ感想を伝え合う活動を設定する。	◇遊び方の工夫をするとみんなと遊びをより楽しめることを伝えたり、記述したりしている。 <発言・学習プリント①>
	1	○みんなと楽しく遊ぶことができた遊び方について振り返り、これからの生活の中で、してみたいことを話し合う。	○自分も1年生も楽しめる遊び方を考えて、みんなと楽しく遊ぶことができた自分自身に気付けるように、「みんなと楽しく遊ぶためにがんばったこと」や「遊んで嬉しかったこと」を視点として提示する。	◇自分も1年生も楽しめる遊び方を考えて、みんなと楽しく遊ぶことができた自分自身について、絵や文で記述している。 <学習プリント①>